大仙市立中仙小学校学校報　令和４年度 NO.２９　令和４年１２月７日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ

６年生・のぞみレストラン

“楽らく 笑SHOW”な学校　　なか１０００笑楽校

ＰＴＡ学習参観 と 個人面談

秋田県の感染が初めて２０００人を超えた日のＰＴＡ。参観後に、何人かの保護者の方から「えぐやってけだんしっ」という言葉をいただくほどの中、今回も制限付きでの参観でしたが、多くの皆様に、久しぶりにご来校いただきありがとうございました。

寒いのに、廊下で参観してくださる方。静かに離れて授業を見てくださる方。そして、短時間の参観で帰宅する方もいました。いつものように、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、「できること」を今回もやり遂げることができました。

また、個人面談へも全校で４５名、約１／３の方の希望がありました。希望の多い学年は、日を分けるなどして実施させていただきます。それにしても、行ったり来たりの動きがあって、慌ただしい中でのご協力に改めて感謝申し上げます。

授業の内容も、いつもより制限したもので、活発にワイワイ活動する姿は自粛しました。それでも、子どもたちの明るい表情や、担任の先生との良好な関係、落ち着いて安心できる学びの空間を感じ取っていただけたのではないでしょうか？

次回のＰＴＡは、２月１５日（水）です。コロナやインフルエンザ等の感染症にあまり影響されないことを願っています。

そして、３月１４日（火）の卒業式と、２０日（月）の修了式に向けて、学校は着実に“次の春”に向かっています。今こそ育てて、次につなげる冬休み前です。

もっと 地域とつながる学校
もっと 学校とつながる地域

～中仙地域 地域学校協働活動が　スタートしています！～

中仙中学校・中仙小学校・清水小学校・豊成小学校からのお願いです

大仙市では、令和２年度から
子どもたちの学びを支援しながら、
そこに住む人たちも、
元気に楽しく過ごしていくための活動をスタートしています。
中仙地域でも、中仙公民館（ドンパル）内に「地域学校協働本部」を置いて、
より豊かな地域の絆づくりをめざして動き始めました。

これまでも、多くの方々が学校に足を運んで協力し、
学校も、地域の行事に積極的に働きかけてきた中仙地域です。
そんな地域の教育力のさらなるパワーアップを目指して、
“改めて”、そして、“新たに”地域の人材を募集します。

上のような人材募集のお願いを、１月に配布するために動いています。
これまで、中仙小学校の子どもたちのためにご協力いただいた方々を“改めて”確かめてお願いすること。そして、学校課題の解決のために、“新たに”協力者を募る動きです。
本校では、田んぼや畑の協力、習字や家庭科の授業支援、図書館の整備、スキー教室の指導者、金管バンドへの協力者などをお願いしたいと考えています。
この動きは、中仙地域の四つの小・中学校と中仙公民館（ドンパル）とが共同で実施するものです。保護者の皆様にも、これまで以上に積極的にご協力いただければありがたいです。詳しくは、１月の市の広報と一緒に配布予定の、「折り込み」の内容をご覧ください。

ＰＴＡの校長の話に替えて
・・・コロナとワールドカップ　「賛否両論」

今回のＰＴＡも、そのもち方について考えました。
直前の学年閉鎖と、前日の感染状況の確認と判断・・・。どうにか「１０分制限」という苦しいルールを設定することで、「今“できること”」はこの方法だと決めました。
こう決めても、二つの賛否両論の考え方が出てきます。
①こんなに拡大しているのになぜＰＴＡをやるのか！
②せっかくの機会なのに、
なぜ、たったの１０分だけなのか！
なぜ、学年懇談もやらないのか！
今、世の中には、コロナ対応を巡って相反する考え方が、いつも同居しているように思います。
そんな中、私は校長室の机に、左の言葉を掲げています。
それから、次の言葉もあります。
「できるか できないか ではない
やるのか やらないのかが すべてである」
他にも、「多様性」や「民主主義」「経済優先」という考え方に関しても、人によって立場によって、その違いが大分はっきりと見えてきているように思います。
小学校は、人間の一生の中で、最も多様性のある人々が集まる社会空間だと思います。特に、教室はそうです。みんなそれぞれに「よさや困難さ」がある中で、寄り添ったり、がまんしたりして生きています。その子たちの違いを集めて、折り合いを付けていく営みに、今後とも、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

そんな中、サッカーのワールドカップが世の中の話題になりました。
0.1㎜とも言われる三苫選手の切り返しにも、賛否両論が出ました。決勝リーグの戦い方やＰＫにも賛否両論・・・。
右の写真は、森保監督の試合後の礼です。この背中と頭。本当に、いろんな感情が伝わってきます。

一人の思いを 大切にすること。
がんばりを認めて たたえる心。
経験を生かして、次に向かうこと。

結果論をＳＮＳ上で批判するより、選手たちから教えられたことを、次代を担う子どもたちには伝えたいですね。